

整理番号	2020.12-2		
研究課題名	我が国の GIST 研究におけるイマチニブ使用の実態に関する研究		
研究期間	研究許可日から 2021 年 3 月 31 日まで		
研究目的	本研究は、我が国における GIST 診療におけるイマチニブの使用実態を把握することを目的とします。		
研究方法	研究対象範囲	2012 年～2014 年の院内がん登録および 2012 年～2018 年 DPC データに登録された消化管間質腫瘍 (GIST) 患者のなかからイマチニブを使用した患者さんを対象とします。	
	利用する情報等	2012 年～2014 年の院内がん登録および 2012 年～2018 年 DPC データを用いて、GIST と診断された患者さんのデータを抽出し、それぞれ突き合わせ、診療行為コードから各種治療 (イマチニブ、スニチニブ、手術) を抽出します。そこから GIST の診療実態 (イマチニブ完遂率、スニチニブへの変更率、術後補助化学療法の施行率など) を分析します。	
	利用方法	院内がん登録 2012 年～2014 年診断症例から、岡山赤十字病院での GIST 治療の患者抽出。都道府県癌診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会 QI 研究において収集されている院内がん登録にリンク可能な DPC データに加え、さらに 2012 年～2018 年 DPC を突合可能な形で収集する。その際、一般社団法人診断群分類研究機構に対して事前に書面にて DPC データの提供の許可をもらい、同機構の保有分より同意の得られた施設の患者データの提供を受ける。	
	他機関への提供	国立がん研究センターがデータを収集します。	
研究責任者	岡山赤十字病院 消化器内科 井上雅文		
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの [お問い合わせ] ボタンからメールにてお問い合わせください。		